

## 執筆者一覧（氏名は掲載順）

### 論文

---

**根来孝明** 公益財団法人日本習字教育財団観峰館嘱託研究員  
京都芸術大学非常勤講師 ノートルダム女学院中学高等学校非常勤講師  
同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程 在学中

#### 主要業績

- ・「三井親和の篆書作品について——その造形と評価に関する一考察——」『美学芸術学』第31号、美学芸術学会、2016年
- ・「良寛の書をどう見るか——線質の検討を中心に——」『美術フォーラム21』第39号、醍醐書房、2019年
- ・「趙孟頫による書聖・王羲之のイメージ生成——《蘭亭序》臨本を手がかりに」『美学』第256号、美学会、2020年
- ・「宋伯魯の臨書——中華民国初期における王羲之書法の様相——」『観峰館紀要』第15号、公益財団法人日本習字教育財団観峰館、2020年

**船木理悠** 同志社大学嘱託講師、京都芸術大学非常勤講師  
同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程 修了、博士（芸術学）

#### 主要業績

- ・「音響のテンポと脈拍のテンポ——ジゼル・ブルレとフーゴー・リーマン——」、岡林洋・清瀬みさを（編著）『カルチャー・ミックスⅡ』晃洋書房、2018年
- ・「ジゼル・ブルレの『音楽的時間』における「音楽形式」について——記憶と期待の観点からの解釈——」『美学』第70巻1号、2019年
- ・「作品の美学から演奏の美学へ——ハンスリック美学とブルレ美学の比較から見えてくる音楽美学の流れ——」、清瀬みさを（編著）『カルチャー・ミックスⅢ』晃洋書房、2020年

### 研究ノート

---

**西澤忠志** 立命館大学先端総合学術研究科表象領域 在学中

#### 主要業績

- ・「日本における「演奏批評」の誕生：第一高等学校『校友会雑誌』を例として」『文芸学研究』22号、2019年
- ・資料紹介「明治時代における新聞での演奏批評記事目録——1890-1916年までの7紙における演奏批評から」『人文×社会』創刊号、2021年

### 文献紹介

---

**池田まこと** 京都芸術大学非常勤講師  
同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程 修了、  
博士（芸術学）

#### 主要業績

- ・「R・M・リルケの言語危機について：ホフマンスタールとの比較を通じて」『美学』第67巻1号、2016年
- ・「「ヴァレーの丘」に匂い立つ「芳しき香り（Fragrance）」に誘われて——リルケの仏語詩『ヴァレーの四行詩』のたくらみ——」、岡林洋・清瀬みさを（編著）『カルチャー・ミックスⅡ』晃洋書房、2018年
- ・「リルケ的「死」及び「愛」におけるロマン主義思想の継承に関しての一考察：特に言語危機の解決と関連させて」『関西美学音楽学論叢』第3巻第1分冊、2019年